



佐多氏はこの地方きっての美しい古城を高級ホテルに甦らせた。全45室。うちスイートは8室。18ホールの素晴らしいゴルフコースもある <http://www.chailly.com/>

ミシュラン2つ星店を経営していたシェフが、2008年からシャトー・ド・シャイーの厨房に立つ。ブルゴーニュをはじめフランス中の極上素材を使った繊細な料理に、なめらかで気品あるブルゴーニュの銘酒が似合う



アリーなシャトーホテルとして、オープンさせた。

堅牢な石壁や仰ぎ見るような高い天井を持つ、居心地のよい客室やサロン。客室は、城館と併設の元厩舎を改造した快適な建物につくられている。随所にルネッサンス建築の粋が残っており、まさに、城館での滞在。

レストランのシェフは、ミシュラン2つ星店を経営していた実力派。飛び切りの食材をふんだんに使った、フランス・ガストロノミーの粋を感じる料理を味わえる。もちろん、傍らにはブルゴーニュの美酒を添えて。城の地下には、16000本の

ワインが眠るカーヴも併設。あらかじめ希望があれば、この

カーヴで試飲会をすることも可能だ。

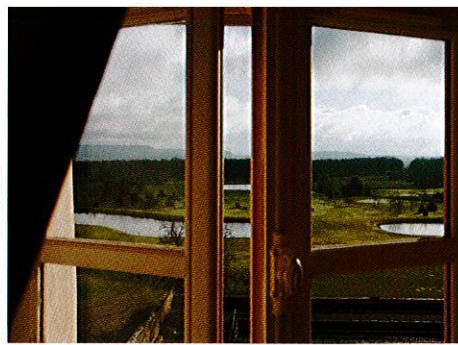
城館から一歩外に出れば、ゆるやかな起伏に富んだ、まぶしいほどの緑が広がる美しいゴルフ場。ブルゴーニュの自然を満喫しながらのラウンドは快感だ。ゴルフを楽しんだ後は、館内にあるハمامでくつろぎ、ドレスアップして美食を堪能。夜更けには、ピリヤードを楽しんだり、シガーやブランドーを味わうのもいいだろう。

ルネッサンスの優美な城の雰囲気浸って、ゴルフ&美食の極上ヴァカンス。寛ぎと快楽を求めて、フランスはもちろんスイスやドイツなどヨーロッパ各地から人々が訪れている。

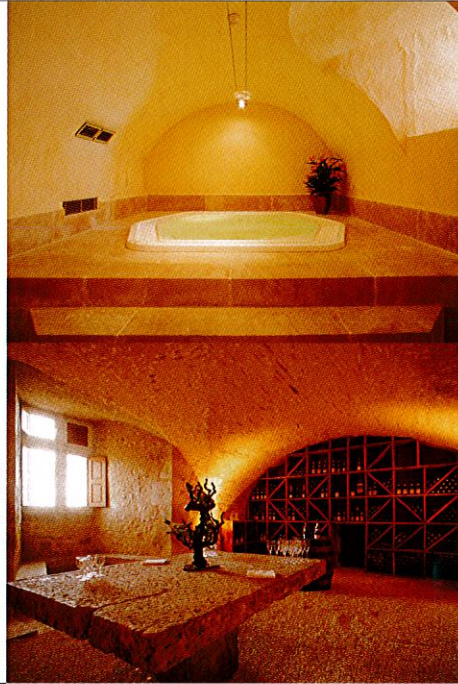
城を守る人々

城主になった日本人

フランス芸術文化勲章、そして、ブルゴーニュ名誉市民の称号を得た日本人がいる。実業家である佐多保彦氏だ。ブルゴーニュの文化、ワイン、そしてこの地に立つ古城シャトー・ド・シャイイーに魅せられた佐多氏は、数百年の間放置されていた城を買い取り、改装。ルネッサンスの面影が残る瀟洒なシャトーホテルとして城をよみがえらせ、由緒ある城に新たな生命を吹き込んだ。



窓越しには、広々としたゴルフ場と、その向こうに広がる雄大なブルゴーニュの風景。時間の流れが止まったような、どこか神秘的な雰囲気にもまれた快適な古城ホテル



部屋は、城館内と併設の旧厩舎に。最新の設備とルネッサンス期の面影を併せ持つ。ハمام、ワインデギュスタシオンもできるカーヴなどの設備も完備。平和を願う佐多氏は、城館内に礼拝堂を作った

Château de Chailly

ブルゴーニュの中心都市ディジョンから西に50kmあまり車を走らせると、プイイー・アン・オクソワに着く。その村外れに、シャトー・ド・シャイイーはある。丘陵や森がはるか彼方まで広がる牧歌的な景色に抱かれた、15世紀建立の瀟洒なルネッサンス様式の城館。400年

の間、放置されていた城を、ブルゴーニュのワイン、建築、文化を敬愛する日本の実業家佐多保彦氏が1987年に購入。2年間にわたる大改装を経て、1990年の6月16日、自身の父の誕生日に、父へのオマージュとして、当時の城のスタイルを残しつつ、快適でラグジュ

